



**まちみらい
チャレンジ
活動報告書**

2021.3



現地から発信！等身大の南越前町

沢崎 雄登、児玉 紗奈

■活動内容

『人と土地を繋ぐ仕組み「ふるさと納税」を使って地域活性化』

ターゲットをふるさと納税や地方移住に興味がある人とし、南越前町に関わるきっかけを作る仕組みとして、「ふるさと納税」に着目した。以下はその活動である。

- ①『ふるさと納税返礼品』や『南越前町での暮らし』についてまとめ、SNSにて紹介
ふるさと納税返礼品生産者へのインタビューや自身で考案した調理方法についてまとめた。また、地方特有の自然の豊かさや厳しさなどについても紹介した。
- ②東京の福井県アンテナショップ2店舗にてPRを兼ねた吊るし柿配布
(株)杉休の「越前いぶし柿」200個を、東京にある福井県アンテナショップ『南青山291』、『食の國福井館』の2店舗にて無料配布した。サンプルには私達のInstagramアカウントにつながるQRコードが添付されており、他のふるさと納税返礼品を知る機会を作った。
- ③Instagramにて、吊るし柿セットの抽選プレゼント企画の実施
(株)杉休の「越前いぶし柿セット」を抽選で4人にプレゼントする企画を行った。

■町との関わり

- ①ふるさと納税返礼品の生産者へのインタビュー
取材先：畠山酒造(株)、(株)杉休、高野由平商店、山田農園、うすい農園
- ②花はす温泉そまやまへの宿泊や町内飲食店での飲食
- ③南越前町産の食品や特産品を使った調理・レビュー
※ハスの実を使った料理を『南条ごはん』掲載レシピに応募済

■情報発信

- ①ふるさと納税や地方移住に興味がある人をターゲットとし、InstagramやFacebookといったSNSにて「食と暮らし」についての情報を発信した。
- ②東京にある福井県アンテナショップ『南青山291』、『食の國福井館』の2店舗にて特産品の吊るし柿を配布した。
※吊るし柿には私達のInstagramにつながるQRコードを添付した。

■成果(変化)

- ①活動を通しての気づき
深掘りしていくと、南越前町には食や歴史といった部分で様々な魅力が隠されており、情報発信によって興味を抱いてくれる人が全国にいたことが分かった。ふるさと納税返礼品は商品の情報が少ないことが多いため、それぞれの製品の特徴や実食した感想の発信によって、ふるさと納税をする人の選択肢が増やせることに気づくことができた。
- ②自分自身の変化
これまでSNSをあまり利用してこなかったため、見る人がどのような情報を求めているかを意識して行動することがあまりなかった。しかし、この活動を通して、情報を受け取る人の立場に立った情報発信ができるようになった。例えば、投稿する時間帯やハッシュタグのワードなどを徐々に改善した。また、画像編集の際には情報を詰め込まず、要点をまとめることを意識した。
- ③今後について
InstagramとFacebookのアカウントは残しておき、不定期で南越前町についての情報を発信していく予定である。自分達でもふるさと納税を行い、南越前町にかかわりを持ち続けたい。

活動の流れ

1. 取材・体験



2. SNSでの発信



3. イベントの開催



南越前町のアピールポイントを 調査し、体験し、発信する

澁谷 美紀

■活動内容

①町の文化を体験

多くの人に南越前町のいいところを伝えるには、まず自分で体感することが必要だと考えました。計5回の訪問の中で、そば打ちやつるし柿など、町でできる体験をしながら、地域の方と交流しました。

②Instagramで体験の様子を公開

町で撮った写真と共に、体験内容や感じたことを記事にしました。イベントの告知にも役立ちました。友人や福井県在住の方を中心に、たくさんの人に見てもらっています。

③パンフレット「南越前町っておもしろい！」の作成

手に取って見てもらえる形でのパンフレットを作りました。花はす収穫・そば打ち・つるし柿・日本酒仕込みの体験の様子を記載しました。町役場、玉村屋、今庄駅に配置しました。

④まちみらいマルシェ出店

11/23の新そば収穫感謝祭で、ベジプロさんと一緒に出店しました。そば粉を使ったクッキーの販売をしました。地域の方々と直接お話できるいい機会となりました。

■町との関わり

7月に井上さんの田んぼで花はす収穫体験、玉村屋に宿泊。町を知るきっかけとなりました。10月・11月に計4回町を訪問。玉村屋の中谷さん・野村さん、地域おこし協力隊の北村さん、玉村屋のご飯会で一緒した西川さん、朝倉さん、つるし柿の三浦さん・長谷川さん、今庄そば道場の先生方には、直接お世話になりました。玉村屋のオンラインイベントでは、診療所の新野さんともお話させていただきました。ありがとうございました。

■情報発信

- ・Instagram・・・遠くに住む友人や不特定多数の人に、南越前町での活動を知ってもらうために、町で過ごした様子や、活動を通して考えたことを発信しました。応援のメッセージをくださったたり、マルシェに足を運んでくださった方々と繋がることができました。
- ・パンフレット・・・近くにいる友人や南越前町在住の方に、より町の魅力をアピールするために作成しました。町の各所に配置し、大学にも持っていきましました。SNSでも公開しました。

■成果（変化）

・自分自身の思い

南越前町で出会う人は、本当に温かく、初対面の私でも、ずっと前から仲良かったかのように迎え入れ、たくさんのお話を聞かせてくださいました。本当にありがとうございます。初めは、活動をどれだけ多くの人に見てもらおうかを考え、SNSを更新していました。しかし、何度か町を訪れる中で、地域というコミュニティに触れ、自分の身近な人により深く町の良さを味わってもらいたいと思うようになりました。自分がきっかけで町を知ってくれた友人が南越前町に来てくれたことは、活動を進める中でとくに嬉しかったことの一つです。

・経験をどう生かすか

私は、町の魅力を伝える手段として、「写真」と「言葉」を選びました。SNSで多く反応があった投稿も、写真を多く載せたものと、自分の思いを詳細に綴ったものでした。自分自身最も成長を感じたのは、体験したことや自身の心境を文字に起こせるようになったことです。今年から、愛知県のスタートアップの企業で長期インターンをさせてもらうことになりました。広報を担当するので、まちみらいチャレンジでの経験を生かしつつ、今後も勉強を続け、人に思いが伝わる文章を書けるよう努めます。

・今後の町との関わり方

まちみらいチャレンジを通して、南越前町がもっと好きになりました。今後も、大学の友達や家族を誘って遊びに行きたいと思っています。感染症拡大防止のために、今回はオンラインでの参加となった体験もあったので、次は直接行ければと思っています。まちみらいチャレンジが終わっても、南越前町での体験や、地域の方々と交流が続くことを楽しみにしています。

■活動に関する写真等



花はす収穫体験
井上さん、ありがとうございました！



まちみらいマルシェ・そば粉クッキー



南越前町っておもしろい！

—地域に心れる、地域体験型旅行のすすめ—



制作したパンフレットの表紙



つるし柿体験の様子



今庄そば道場にてそば打ち体験



日本酒の仕込み体験をオンラインで
生中継してもらいました
ショーさんありがとうございました！

玉村屋で
ゲストさん、
地域の方、
まちみらい
チャレンジ
参加者の
みんなと！



玉村屋さんでピザ窯作り
(動画がYouTubeで3000回以上再生)

現在および今後の防災と地域の関係性

廣木 颯太郎

■活動内容

①防災について、その仕組みや実情を理解する。
ヒアリングを通じて、平時、災害時、復旧時の活動を学びました。対象は、防災活動を統括する「行政（防災安全室）」、現場で活躍する「消防」、住民の代表である「自主防災会」とし、オンラインと現地で計4名の方にヒアリングを行ないました。主に、各組織の活動内容や連携、現在そして今後の課題について伺いました。
また、鋳物師地区において、防災倉庫などの対策を見学したほか、洪水が発生した際にどのように浸水が広がるのか、ハザードマップを参考に散策しました。

②アカタン砂防堰堤群を見学する。

町内にあるアカタン砂防堰堤群は、南越前町の防災の歴史を学ぶ上で欠かせない場所であると考え、堰堤群の保存活動にご尽力されている伊藤様に現地を案内していただきました。特徴的な石の積み方や自然の岩盤（地形）を活かした水通しなど、100年以上前に作られた堰堤が、今もなお機能し続けている工夫を垣間見ることができました。

■町との関わり

来町期間：2020年11月23日～29日

来訪場所：町役場、南消防署、鋳物師地区、アカタン砂防堰堤群

ヒアリング対象者：市村様（防災安全室）、細川様・前澤様（消防署）、片山様（自主防災会）

その他地域で関わった方：伊藤様（アカタン砂防堰堤群）

前半は参加者の菊川さんと一緒に行動し、防災以外にも杣山に登ったり、右近家の館を訪れたりしました。

■情報発信

情報発信は、ほとんどできませんでした。

■成果（変化）

①活動前と活動後の自分自身の変化

「防災」というものを初めて学んだため、短い期間ながらも自分にとってとても有意義でした。町内でも地区や世代によって意識に差があること、大規模災害時は他地域との連携を行うことなど、今まで何となく知っていたことも、今回の活動でより深く理解できたと思います。また、防災について考えるには、机上で議論したりハザードマップを読み込んだりするだけでなく、実際に現地を歩くことが非常に重要だと、鋳物師地区を散策した際に感じました。

②活動を今後どう活かすか

大学では、今春から災害をテーマに研究する予定です。今回の活動の経験を活かし、研究対象の地域の防災が抱える課題を、フィールドワークなど多角的に考えていきたいです。

反省点は、情報発信ができなかったことです。防災という、ネガティブな印象がある内容をどうやって伝え、そして興味を持ってもらうか、今後の課題の一つです。

■活動に関する写真等

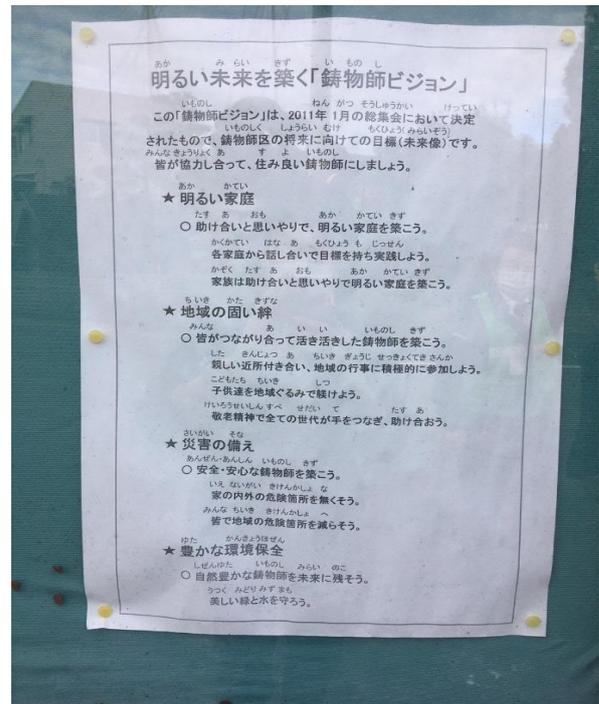
アカタン砂防堰堤群の見学

- (右上) 堰堤群の説明看板
- (左下) 八号堰堤、幅はなんと112m!
- (右下) 今回訪れた中で一番上流の堰堤
計9つの堰堤で土石流を食い止める。



鋳物師地区の散策

- (右) 掲示板に貼ってあった「鋳物師ビジョン」地区の目標の一つに、防災が含まれている。自分の地元にはないもので、関心を持った。
- (下) 地区周辺のハザードマップ。赤色（5m以上浸水）や土砂災害のリスクの高いエリアが広がっていることが分かる。※町のHPより引用。



灯台もと暗し！？

南越前町の本当の価値とは

貢 駿登、櫻本 聖成

■活動内容

体験型ゲストハウスによる今庄宿観光地化計画

①今庄宿・遺跡散策 空き家空地問題の現状把握 まちみらいチャレンジ作戦会議

行き場を失った伝統的日本家屋を価値化させる提案をするという内容。

②空き家のゲストハウスとしての利活用として検討 ゲストハウスの運営方を考案

空き家の周りに小さな経済圏とコミュニティを形成する案の検討。

③伝統工芸品体験型のゲストハウスの可能性を検討

越前に根付く伝統工芸品の体験型宿としての集客とともに、宿泊後の訪問先をもデザインする案を検討。

④工房を訪問 越前の伝統工芸を学ぶ 職人の技を拝見・取材

伝統工芸品と伝統的日本家屋という「古いもの」を価値化させる空間を目指す案として検討。

⑤ゲストハウス実現に向けた開業時期・イベント・運営方式の検討

伝統的日本家屋は「夏を旨とすべし」といわれるように、暑い夏に本領を発揮する建築物であることから、夏にオープン時期を合わせてその良さを一層伝えるよう、今年の夏を開業目標としている。

■町との関わり

計4回（5日間）の福井県滞在

中谷翔さん（玉村屋）野村直樹さん（玉村屋）、貢繁幸さん（みつぐはうす工房）

長田製紙所（越前和紙）、柳瀬良三製紙所（越前和紙）

龍泉刃物（越前打刃物）、曾明漆器店（越前漆器）、漆琳堂（越前漆器）

■情報発信

Instagramにおいて、我々が目指すゲストハウスでの体験や、町とのつながり、風景とのつながり、目指す町の展望などを滞在中に撮影した町や空き家、工芸品の画像とともに発信。関連のハッシュタグによって、空き家やリノベーション、伝統工芸に興味のある不特定多数の人により届くような内容とし、「いいね」や「フォロー」など、多数の関心が寄せられた。

■成果（変化）

・実際に特定の地域に焦点を当てて、過去の歴史や文化を知り、現在の問題をとらえて、未来を考えるというフィールドワークを経験できたということが何よりの収穫。

・町の「いいところ」を探す癖がつき、他の建築や街並み、風景の特徴を探す視点を持つことができたこと。

・今庄生まれ今庄育ちの貢と、大阪生まれ大阪育ちの櫻本との連携によって、それぞれが別々の視点を発見できたこと。

・街並みや建築物を保全する重要性、空き家問題の深刻さ、空き家のポテンシャル、歴史深い今庄という町のポテンシャルの大きさを感ずることができたこと。

〈これから〉

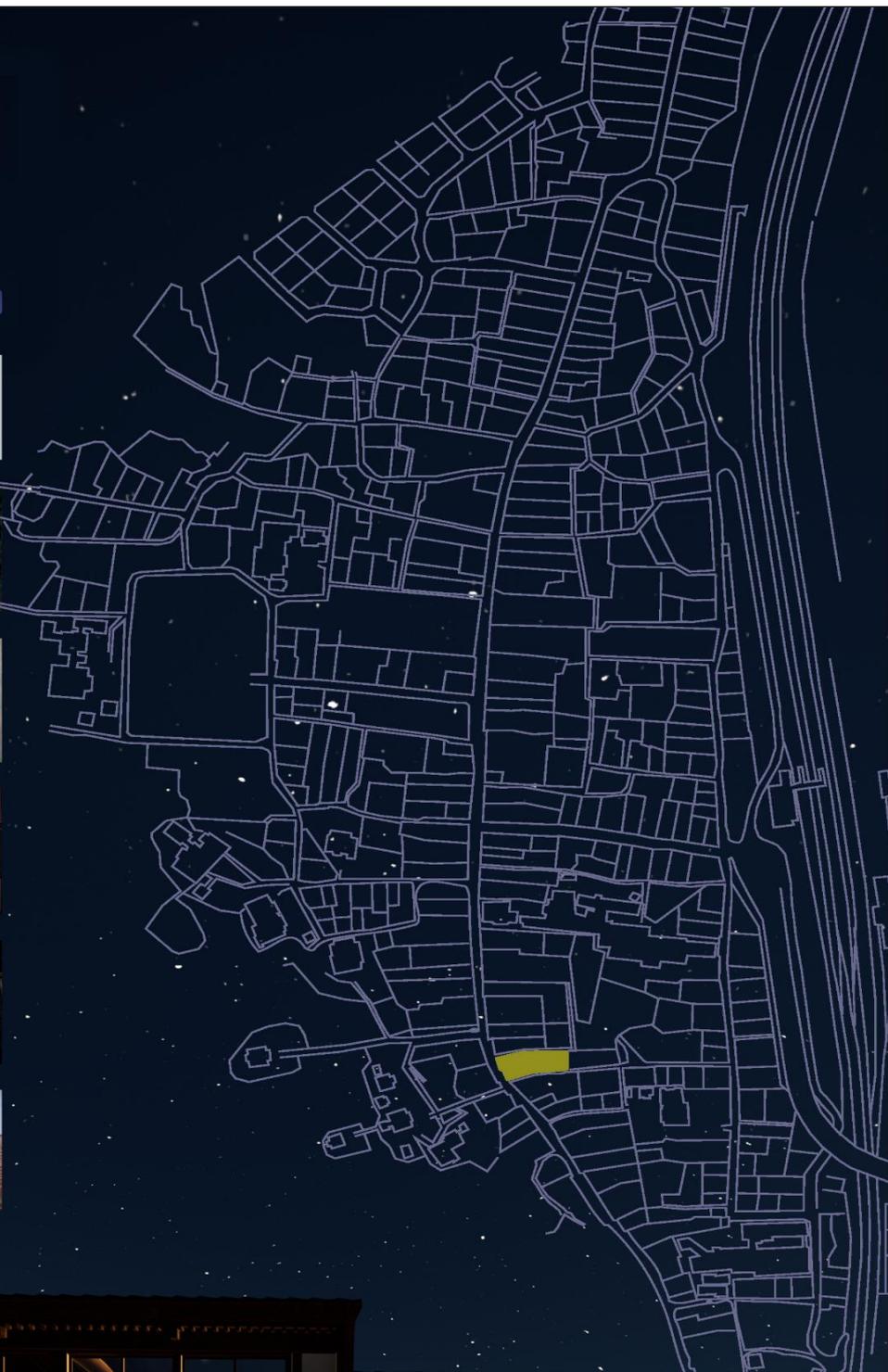
ゲストハウス実現に向けて環境を整え、開業とともに運営を開始。

ゲストハウスの設え、維持管理の仕事マニュアルを整備。旧岡田家によるゲストハウスと、旧西山家のイベントスペースとの連携をデザイン。

■活動に関する写真等



SENA_SHUNTO



移住先としての南越前町の魅力とは

田里 優加子

■活動内容

9-10月 移住に関する先行研究の調査

- ・内閣府官房の地方移住調査
- ・地方移住に関する調査
- ・RESASによる南越前町の分析

11/22 南越前町訪問

①今庄蕎麦を堪能、②蕎麦屋さんで出会った夫婦とドライブ、③玉村屋宿泊

11/23

①玉村屋プラン：つるし柿体験、②新蕎麦収穫祭、③ほかの参加者と共に花ハス農家さん取材

12月～ 幸福論に基づいた地方満足度（先行研究調査）

- ・国土政策支援事業 研究
- ・地方の生活満足度についての研究

■町との関わり

来訪期間 11/22-11/23

来訪場所 玉村屋、今庄そば道場、一ノ瀬山荘（玉村屋 つるし柿体験）

地域で関わった方々 長谷川さん（蕎麦屋さんで出会った夫婦）、野村さん（玉村屋 スタッフ）、朝倉さん、井上さん（花はす農家さん）、宇野さん、紀さん（地域おこし協力隊）

参加イベント 新蕎麦収穫祭、つるし柿体験（玉村屋 体験プラン）

■情報発信

【情報発信方法】

南越前町を訪問した際に、SNSに写真を投稿した。

友人にどのような体験ができたのかを伝えた。

【反応】

「普段できない体験ができて楽しそう、今度行ってみたい」という人が多くいた。

つるし柿体験や玉村屋の体験に興味を持ってくれた友人がいた。

南越前訪問1日目の出会った夫婦とのドライブ体験に驚かれた。

テーマパークや観光地ではなく地方に行くのも楽しそうとの声があった。

■成果（変化）

【活動を通して気づいた点・感想】

・これまで地域に関わる活動をしたことがなかったのですが、このチャレンジを通して、ガイドブックやサイトには載っていないような体験ができたことで地域に関わることの楽しさを感じました。

・今回、移住というテーマで取り組み、9月10月までは調べ学習が主な活動でホームページやネットの情報でしか南越前町という町を知ることができませんでした。しかし、実際に町を訪れた際には、地域の人との交流から調べた以上のことがわかり自分で体験することの重要性を感じました。

また、実際に町を訪れてみて地域で活動している人がそれぞれやっていることは違うけれど、自身が行っている活動に対して楽しんでいる感じが伝わってきて、今まで関わったことのない地域だったのに私も一緒に何かしてみたいと感じました。

このように地域の魅力というのは、自然やほかの地域へのアクセスだけではなく、その地域に住んでいる「人」も魅力であると感じました。

・これまで扱うことのなかった地域の公的データを扱い、どのように生かしていけるのか、先行研究を参考にしながら考えることができました。

また、座学で学んだこと（目的に応じたデータ収集から加工して考察するまでの大学の授業で学んだこと）を実践することの難しさを痛感しました。

・自主的な活動をしたことがなかったので、アポイントメントや実際に来訪する際の活動日程など初めてやることばかりでしたが、楽しんで活動することができました。

・まちみらいチャレンジを通して、蕎麦屋さんで出会った夫婦と福井観光するなど自分が思っていたより行動力があるということに気づき、自分について新しく知ることができたと思います。

■活動に関する写真等



活動番号



まるごと！南越前町発信倶楽部

吉原 詩織

■活動内容

【目的】

《対南越前町》

南越前町の魅力を発信し、「認知度の向上」「町のファン(関係人口)を増やす」「移住促進」を行う。

《対学生(筆者)》

企画立案力及び事業実行力とコミュニケーション能力を醸成する。

【実施内容】

- ①二週間程度、南越前町の「流動創生」拠点に滞在し、**魅力創出**
- ②南越前町をフィールドワークの場とした調査研究で、「南越前町住民」兼「本事業参加学生」対象に、**魅力創出**
- ③SNS(Note)で、来町したことない人に**魅力発信**
- ④周遊冊子作製、配布で、観光客に**魅力発信**

■町との関わり

【来町期間】**2020年10月17日(土)~10月31日(土)**

【来訪場所】**流動創生、農園、今庄宿、河野など**

【質的調査対象者】**農家さん、移住者の方、地域おこし協力隊の方**

【アンケート分析対象者】**「まちみらいチャレンジ」参加学生17名、住民3名**

【地域で関わった方】**流動創生、高野由平商店、吉五商店、今庄D51直売所、PIZZERIAROSSO、GENOME、ORION BAKE、一ノ瀬山荘、農家、地域住民など(敬称略、順不同)**

【町との関わり】**公民館主催グラウンドゴルフ大会に参加、農業手伝い、特産品「吊るし柿」加工手伝い、社会福祉士、役場へインタビュー、「福井新聞」のインタビュー取材、地元カフェ手伝い、「はなもも」植樹手伝い、草刈り手伝い、そば打ち、きびだんごづくり体験、街歩き、観光地視察、地元住民とご飯会(複数回)、地元学生とドライブ、サイクリング など**

■情報発信

《SNSで南越前町の魅力発信》

(内容)**リモート授業を受けながらのワーケーション経験の発信**

(反応)**閲覧302人、いいね80件(2021年2月5日時点)**

《大学の研究報告会》

(内容)**南越前町をフィールドワークの場とした調査研究**

(反応)同大学のフィールドワークとの比較をすると**なお興味深いと好評。**

《周遊冊子作製、配布》

(内容)**同町の飲食店ら6店舗紹介を冊子にまとめ、協力店に配布。(作成は13冊)**

(反応)飲食店らから喜ばれ、お店の周遊コーナーに冊子設置される。

■成果(変化)

(活動前後の自分自身の変化)

地域の「ソト」の力が地域の魅力創出のためにはカギになる。

(活動を通して気付いた点)

これからはどんな場所においても、**自分の学びたい場所で、学びたいことを学べる時代になると**気づいた。そして、**自分の状況を自分で考えていかに創り出せるのか、によって人生が変わる時代になると**考えた。

(活動(経験)をその後どう活かすか)

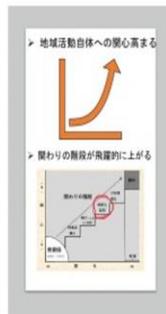
シビックプライドの関係人口について深掘りしたい。

(今後の町との関わり方(想定))

コロナウイルス感染拡大が落ち着いたのち、また南越前町に来町し、周遊冊子の影響がどうだったか検証、また、大学の研究フィールドワークとして活用したい。



大変お世話になりました！



関係人口としての参加学生アンケート

【南越前町での地域活動への関心】
参加以前：2.82⇒参加後：3.35
【地域活動自体への関心】
3.06⇒3.35

【移住の段階性】
参加以前：無関係が約6割⇒居住者⇒頻繁訪問⇒二地域居住
参加以後：頻繁訪問が約5割⇒特産物購入



また来ます…



活動番号



Let's Enjoy Minamiechizen Town!!

今村 美吹

■活動内容

①カフェの紹介ブック作り

甘味処てまり、Trunk、Orion Bake、sou's cafe、PIZZERIA ROSSOの5つのお店のオーナーさんにインタビューを行い、作り方や材料のこだわりや、オーナーさんのお店や町に対する想いを尊重しながら紹介ブックを作る。

②町民の自主スポーツサークルの紹介

南条地区で行われている自主スポーツサークルを中学生に紹介し、スポーツを通して町民と交流していくことの楽しさを伝える。

③南越前町トランプ

小中学生向けに、遊べるパンフレットとして町内の名所や自然をデザインしたトランプを作成する。

④ふるさと交流学習

南条中学校1学年に「ふるさと交流学習」の講師として自分のまちみらいチャレンジでしてきた活動を発表する。

■町との関わり

取材場所: 甘味処てまり、Trunk、Orion bake、sou's cafe、PIZZERIA ROSSO

町内の各スポーツサークル (NSVCやバドミントンクラブなど)

南条中学校校長先生をはじめ諸先生方、南越前町教育委員会白井眞様、赤星昇様、各カフェのオーナー様、バドミントンクラブ代表土島博道様、ショートテニスクラブ代表玉村勝博様にご協力いただきました！心から感謝申し上げます！

■情報発信

南条中学校でふるさと交流学習を開きました。町内のカフェや自主スポーツサークルを紹介し「行ってみたい」など温かい反応を得られただけでなく、実際に訪れスポーツを楽しむ生徒が増えました。南越前町トランプを使ったゲームでは笑顔で遊ぶ生徒たちの姿が見られ、「知らなかった場所や食べ物を知れてよかった」「友達と遊びながら学べるのが楽しい」と地域学習にも貢献することができました。

■成果（変化）

私は生まれてから19年間南条で暮らしてきました。まちみらいチャレンジを始める前は、正直南越前町に対して今の自分ほど熱い思いはありませんでした。「ずっとここに住んでいるから、なんとなく大人になっても住み続けるのかな」くらいにしか思っていませんでした。でも、この活動を通して、自分自身が南越前町の観光地を訪れたり、町民の方々と交流が増えていったりしたことでその気持ちが大きく変わりました。大人になっても、もしこの町を出ていくことになっても南越前町をふるさとと言えることに誇りや喜びを感じるようになりました。そして、そう思えるようになったのは町民の優しさに気づけたからです。町内を散歩していると挨拶してくれたり、自然の名所に行くとベストスポットを教えてくださいました。カフェのオーナーさんにインタビューをした際には、お店を開業時に町民の方々が進んで準備を手伝ってくれたという温かいエピソードを聞きました。そういった優しい町民の一員として、私もこれから他人に思いやりをもって接していけたらいいなと思います。また、中学校での発表では、中学生が「私も今村先輩みたいに町をPRする活動がしたい」と自分にあこがれを持ってくれる生徒もいてうれしく思いました。私は、今までの活動を通して町の活性化に関わる仕事をしたいと思いました。そして、私の次の世代を生きていく子供たちに南越前町の良さや南越前町で暮らす楽しさを伝えていきたいです。子供たちがこの場所で多くの経験をし楽しい思い出を作ることで、南越前町が自分自身のかけがえのない大切な場所になるように、私ももっと町のために今後も活動していこうと思います。

■活動に関する写真等



ふるさと交流学习の様子



福井新聞
2021/02/02



バドミントンを習う
中学生の様子



カフェ紹介ブック

クイズで知る南越前町

澤崎 みの莉

■活動内容

①南越前町のクイズ

Instagramでクイズ形式で南越前町の店、建築物、景色、などを紹介していくものです。また、町内の人にもクイズをしていることを知ってもらうために、南条駅でクイズの掲示をしています。どちらも問題を出して、間をあけて答えを出すという形式をしています。また、Instagramでは答えを出すときにその場所の雰囲気などの情報を付け加えて発信しています。

②オンラインそば打ち

まちみらいチャレンジに参加している庵下さんが企画していたオンラインそば打ちの手伝いをしました。私は主に、南越前町内での交渉や取材、チラシの設置などをしました。また、より多くの人に参加してもらうために福井市でチラシの設置やポスターを貼ったりしました。

③日野山の様子

南越前町内でよく見える日野山の写真を毎日撮ってInstagramで紹介しました。毎日あげているので、町外の人でも変化の様子や、その日の南条の様子を知ってもらえると考えています。

■町との関わり

住んでいます。

取材先；河野の梅農家 濱野さん、鴨平

訪れた場所；四季菜、Sou'scaffè、ORIONBAKE、GENOME、ROSSO、鴨平、玉村屋、南条駅、今庄駅、南条文化会館、甲楽城海岸、めだかの学校、白竜の滝、カップ広場、広野ダム、レインボーパーク南条、そまやま、など

■情報発信

Instagramでの情報発信。様々な人に自分の投稿を見てもらえるように、ハッシュタグに、「japan.fukui」などといった英語の情報をつけたり、クイズに関連する言葉をつけたりしました。また、町内の人にも見てもらえるように、南条駅にクイズを設置し、駅での待ち時間などに少し見てもらい、自分のInstagramを覗いてもらえるとうれやうに考え設置しました。オンラインそば打ちの際は、町内だけでなく全国からの参加者を募集するため、ネットや新聞を使って宣伝しました。また、県内の参加者を募集するためにハピリンや、福井こども歴史文化館等におけるチラシの設置をして参加者を募集しました。

■成果

・活動前は、南越前町は何もないところだと思っていましたが、活動して町内の様々な場所や人と関わって、南越前町は沢山のいいところがあって、決して何もない所なんかでは無いという事が分かりました。また、初めは、何もないから情報を発信するには限界があると思っていましたが、町内の事を調べて様々な場所を回ること、たくさんの方に伝えたいと思う場所がたくさんありすぎて発信しきれなかったです。まだ沢山のいい所や面白いなと感じるところ、紹介したいお店があるので見て回ったり、訪ねたりするのが楽しみです。参加する前と後では、町内の見え方が変わりました。今までは何も思わなかったり、目につかなかったことに目を向けるようになりました。この変化によって、町内を移動することが楽しくなりました。また、自分から積極的に行動しないと何もできないという事を痛感したので、この活動を通して積極性が身についたと考えました。さらに、多くの方と話すことが多かったので、社交性も以前と比べ身についた気がします。

・今後は大学で地域の事を勉強しようと思っています。そこで、まちみらいチャレンジでしたことを活かしたらよいなと考えています。また、この活動で身につけた積極性やコミュニケーション能力を活用して、様々な活動に参加して見聞を広げたり、他の地域を訪ねた際にも今まででは見なかったようなところにも注目して見るとより一層楽しめるようになるのではないかと考えています。また、積極的に友達や知り合いに南越前町の良さを伝えて、来町してもらえるといいなと考えています。

・しばらくの間はまだ南越前町に住みます。南越前町で生活する中でまだ見つけられなかった良い所を探し、積極的に町や地区の行事に参加しようと思っています。



自分のInstagram



投稿の例（クイズの答え）



毎日の日野山の投稿



南条駅に設置したクイズ



オンラインそば打ちのポスターとチラシを
そまやまに設置しました。



人生図鑑

横井 瑚子

■活動内容

①南越前町民の方々紹介

日々のかかわりの中で私自身が見つけたその人らしさを等身大の言葉で発信。7名の町民の方を「note」というインターネットプラットフォームで紹介した。

②南越前町での思い出発信

地域の方から教わった文化や考え方など、私にとって学びになったことを紹介した。
例) そば打ち、きび団子作り、花農家さん、「当たり前」は人それぞれであること

③特産品の「今庄つるし柿」について発信

2か月間、住み込みで「今庄つるし柿」を作るアルバイトをさせていただいていた。率直な感想と共に作り方や面白さを発信。

■町との関わり

滞在期間：およそ2ヶ月間 滞在场所：今庄地区

まちとの関わり：今庄つるし柿づくり、地域まるっと体感宿 玉村屋さんで交流

ヒアリング対象者：(株) 杉休の生産者の方々、地域まるっと体感宿玉村屋のスタッフさん

地域で関わった人：ヒアリング対象者の方々、今庄観光協会の方、地域おこし協力隊の方など

■情報発信

「note」というブログのようなインターネットシステムを活用して発信。見てくれたのは南越前町民の方、私の知人・友人、その他ネットユーザーだった。

読んでくださった方々からは「10年も付き合っているけど、ここちゃんの記事を読んで初めて知ったことがあった」「ここちゃんと話しているみたいで楽しい」「等身大の言葉で書いてくれているからずっとはいつてくる」などのコメントを頂いた。

■成果（変化）

言葉にして伝えることが苦手だった私にとって、今回の「人生図鑑」作成は大きなチャレンジだった。まちみらいチャレンジを通して、等身大の言葉で伝える記事は私以外誰も作ることができないオリジナル作品であることに気づいた。実際、私の記事を読んで楽しんでくださっている人もいて、ありのままを伝えても誰かの心に届くことが分かった。また、南越前町の方々は私のことを「家族の一員」として接してくれ、活動の応援やサポートして下さった。だいすきな皆さんがいるこのまちでもっとチャレンジしたいので、4月から1年間住むことにした。引き続き、noteの記事の更新をしたいので、私に関わっていただける方、noteに書いても良い方募集します！1年間、よろしくお願いいたします！

■活動に関する写真等

人生図鑑

◎溢れる笑顔と言葉たち

忠夫さんの笑顔と言葉がだいすき。とても安心するし、穏やかな気持ちになる。



人生で大切なことは"因果応報"です。



簡単にはまねできない力だと思うけれど、一つだけマネできることがある。

それは、相手にしっかり自分の思いを伝えること。

思い出

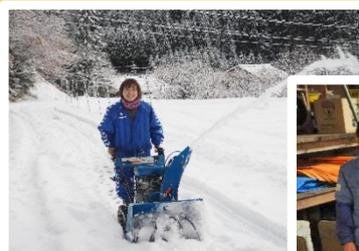
そば打ち体験



手の動かし方だったり、棒への生地巻き方だったりと本当にちょっとしたことだけど、それだけで綺麗になるって本当に生きる知恵すごい。



雪かき体験



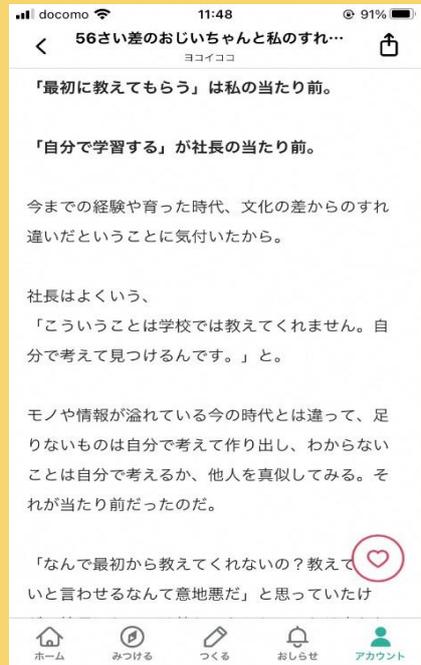
笑顔溢れる第二の家族。

花農家さん訪問



るんるんになる魔法をかけられたかのようにを持った瞬間テンションが上がった。

おじいちゃんから学んだこと



「最初に教えてもらう」は私の当たり前。

「自分で学習する」が社長の当たり前。

今までの経験や育った時代、文化の差からのすれ違いだということに気付いたから。

社長はよくいう、

「こういうことは学校では教えてくれません。自分で考えて見つけるんです。」と。

モノや情報が溢れている今の時代とは違って、足りないものは自分で考えて作り出し、わからないことは自分で考えるか、他人を真似してみる。それが当たり前だったのだ。

「なんで最初から教えてくれないの？教えていと言わせるなんて意地悪だ」と思っていたけ



柿収穫



活動番号

10

サイクリングによる日本遺産 (旧北陸線、今庄宿)漫喫プラン作成 徳永 喜信、西村 拓真

■活動内容

①現地でのフィールドワーク (5泊6日※それ以降もオンライン交流)

- ・丸1日かけて実際に自転車で各道路を走破 (旧北陸線跡、潮風ライン、国道305号線など)
- ・出会った方々にインタビューを行い、街の良さをヒアリング (今庄、南条、河野)
- ・地域おこし協力隊の方々や今庄宿の方々との交流、歴史学習
- ・今庄観光協会の人との交流

②日本遺産 (旧北陸線・今庄宿) をサイクリングで巡るプラン作成

- ・サイクリングコース選定
- ・硬券、お買物券、サイクリングマップ作り

③関係各所との調整

- ・今庄観光協会さんとの電話、その他関係者への電話 (JR西日本、Nexco中日本など)
- ・Youtuberへの個別営業メール

④旅行予約サイトとの調整

- ・主にじゃらん、アソビューへの掲載交渉
- ・その他旅行サイトへの交渉

■町との関わり

- ・来町期間・・・5泊6日で訪問 (昨年10月) ※それ以降はオンラインでの交流
- ・来訪場所・・・南越前町ほぼ全ての場所 (役場、観光協会、日本遺産など)
- ・取材場所、対象者・・・出会った地元の方々 (主に今庄宿の皆様)
- ・訪問後・・・役場の方と5回のオンライン交流、観光協会の方と10回以上の電話会議
ツアー催行に関する質問を地域おこし協力隊の方へ複数回お伺い

■情報発信

- ・プラン内容を旅行サイト (じゃらん、アソビュー) へ掲載
- ・YouTuberへのアプローチ
・・・北陸新幹線延長に伴い、北陸線に注目しているとのことで、前向きに検討中
- ・大学のゼミナール発表会での宣伝
- ・SNSを使ったまちの魅力発信

■成果 (変化)

具体的な成果

- ・大手旅行サイトから予約できる観光ツアー完成 (3月上旬公開)
- ・都市圏の人々への宣伝活動
- ・関係各所との調整完了

習得内容

- ・主体性・・・常に自身で考え、行動することにより取得
- ・企画調整力・・・関係各所との交渉や調整

以上の経験を活かし、社会人になった際は主体性を持って、交渉や調整を行いたい。

今後の方針

- ・今後も、南越前町を訪問し、地域の方々と交流を図る
- ・引き続き、ツアー発表を完璧なもので迎えらるようツアーページ作成
また、4月以降もツアー内容の微調整を行い観光客に南越前町の良さを知ってもらう活動継続

■活動に関する写真等 ※フィールドワークの様子



※各種作成物



- # タイムスリップ (圏外)
- # 体験型旅行
- # 日本遺産
- # 絶景サイクリング

5Gから0Gへタイムスリップ!?!?
 ~日本遺産(今庄宿、旧北陸線)をめぐる~
 絶景サイクリングツアー

In 福井県南越前町

- 家族連れ
- 一人旅
- 友達
- 自然満喫
- 歴史探訪
- 新体験型

「5感で感じる往年の雰囲気」
 ~スマホの通知を忘れて絶景サイクリング~

日本遺産を自転車めぐり、道中の駅跡では実際に硬券に参加者が穴を開けて、自分だけの硬券を作り、ゴールの今庄宿でお食事(又はお土産購入)をする体験型旅行ツアーです。ツアー立案者である大学生ならではのインスタ映えするフォトスポットもご紹介しています。道中では、携帯が一切繋がらない場所があり、都会では5Gが進んでいる中ここは0Gです。しかしあえて0Gなのが長所であり、タイムスリップを味わうにはうってつけです。ぜひ一度訪れて体験してみませんか?



体験型旅行ツアー



→おすすめポイント

- ・使用される硬券は今庄オリジナル(穴の開け方で世界に一つだけのお土産に) ※硬券例
- ・詳しいマップ(見どころや高低差など)を配布
- ・熊鈴の無料貸し出しがあるので安心
- ・自転車の丸一日レンタル券がついているので余力がある人は別地区に行くことも可能。(観光協会にて別途案内)

時代は5Gから0Gへ!
 (廃線跡・自然満喫コース)

今庄宿-杉津SA間往復 総距離約36km(3時間)

*注意事項

1. 熊鈴着用
2. トイレ・自販機少ないため注意
3. トンネル内、車がないか前方確認

体験スポット

トイレ

旧北陸本線トンネル群

トンネル群は、明治時代に作られ、現在、日本遺産に登録されています。レンガの造りが見事で、歴史と荘厳な空気を感じることが出来ます。トンネルごとに、雰囲気や造りが微妙に異なっており、様々な表情を見ることが出来ます。トンネル内は、ひんやりとした空気に満ちていて、自転車で駆け抜けると、とっても気持ち良いです!

スイッチバック跡

列車が急勾配を登る際に、行き違いをするための施設跡です。とても大きな施設で、その迫りに圧倒されました!

山中スイッチバック跡

大桐駅跡

明治時代、駅のホームであった名残が残っています。現在サイクリングコースとなっている場所はかつて実際に鉄道が走っていた場所であるため、直線的で平らな道が続いています。

駅内に北陸線の歴史をまとめたブースがあるので、立ち寄ってから出発するとより楽しいサイクリングになります!

0Gエリア(圏外)

携帯の通知を忘れて、自然の音に耳を澄ましてみて!

敦賀湾



敦賀湾が一望の絶景スポット!!



↑折り返し地点



大桐駅跡

国道207

南今庄駅

今庄そば道場

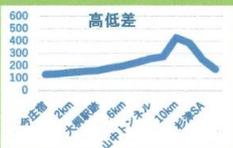
今庄宿

START & GOAL

*以後、しばらくトイレないので注意!

今庄宿

今庄宿は、江戸時代の参勤交代の際、福井藩が宿泊したことで栄えた宿場町です。敵の侵入を遅らせるために、南北の入り口に「かねおり」という曲がり角があるのが特徴です。現在でも歴史的な町並みが保護されています。商店街のお店では、そばやお茶を味わい、ゆったりとつろぐことができます。



↑高低差は小さく、どの年齢層の方も走りやすいコースです!

南越前町の魅力発信ガイドブック

@Instagram

梶岡 愛由

■活動内容

私の活動は **多くのユーザーを持つSNS『Instagram』での投稿** です！

私のInstagramのアカウントを見れば、グルメや観光地、景色など南越前町の魅力を知ることができる！という**”ガイドブック”**みたいなアカウントを目指して活動をしていました。

【どんな内容を発信したの？】

- ①南越前町の基本情報
- ②今庄駅や南条駅
- ③カフェやレストランなどの飲食店
- ④南越前町で行われていたイベントやバスツアー
- ⑤地元の方や写真が趣味の方が撮った南越前町の景色や食べ物の写真
- ⑥南越前町の特産品やお土産
- ⑦まちみらいチャレンジ参加者のイベントや企画の告知

これらを女子大学生の私から見たリアルな感想や、その場所の詳細を載せて発信しました。

■町との関わり

来町期間：10月中旬から2月までに計8回

来訪場所：今庄駅、南条駅、北前船主の館 右近家、

甘味処てまり、ORIONBAKE、GENOME、Trunk、忠兵衛そば、甲楽城売店、ネヌファ
古民家れすとらん しげじろう、うみの宿 さへい、Pizzeria ROSSO

イベント：今庄にちょっと寄ろう、秋のお茶会、新そば収穫感謝祭、SLバスツアー

取材者：来訪場所で出会った観光客や店員の方、Instagramで出会った南越前町出身の方

■情報発信

Instagramを通じて20代の方に向けて発信してきました。

【実際に私のアカウントを見てくださっている方の情報 (Instagramの機能より)】

出身：福井市 37.3% 越前市 9.4% 南条郡 5.4%

年齢層：18～24歳 11.2% 25～34歳 30.1% 35～44歳 29.4% 45～54歳 19.7%

性別：男性 55.2% 女性 44.8%

■成果（変化）

○自身の変化

私は生まれ育った福井が大好きで、福井をもっと元気にするにはどうすべきか考えていました。そこで、このまちみらいチャレンジについて知り、地域の活性化に協力したい！自分の力を試したい！という思いで参加を決めました。活動していく中で南越前町の役場の方や地域おこし協力隊の方、地元の方などのお話を聞くことができ、地方の限界や課題を実感することができました。若い世代の人に地元の魅力を感じてもらい、福井の発展に向けて動く若者が増えるといいなと思っています。またその原動力になりたいなと思っています。

○今後について

この経験によって、地域の問題点とそれに対する地域での取り組みを知ることができました。ほかの地方での取り組みや自分の興味のある流動創生について自分でも調べていこうと思います。Instagramの活動については今後も続けていこうと思っています！

■活動に関する写真等



112
投稿

951
フォロワー

973
フォロー中

ayu@ふくい南越前町

個人ブログ
#373ガイドブック
#南越前町
#福井カフェ
#地方創生

まちみらいチャレンジに参加しています！
目指すのは「南越前町のガイドブック」🌸
皆様のコメント・フォローお待ちしております😊

⇒ 福井生まれ福井育ちの女子大生による福井紹介
www.town.minamiechizen.lg.jp/tyousei/709/p003363.html

Instagram

ぜひ私の活動を実際に見てみてください！

FUKUI.IITOCO_

Instagramをダウンロードされてる方は
右のQRコードからチェックしてください！



“MINAKOI”という南越前町を
題材としたフリーペーパーの
企画に携わらせていただき、
次回の春夏号のモデルもさせ
ていただきました。南越前町の
良さをいろんな方に知ってい
ただけたら嬉しいです！春夏号は
3月末発行予定ですので、そちら
もチェックしていただけましたら幸いです！



「そば」の魅力の深掘りと、その発信

庵下 恵理

■活動内容

1. オンラインイベントの開催

(1) 「あなたの知らない蕎麦&今庄そばの世界~そば粉と水でそばがきを作ろう~」(12月5日)

前半：講師との座談会（今庄の蕎麦の特徴、おいしい理由、栄養など）

後半：今庄産そば粉で「そばがき」作り

講師は、福井県から蕎麦のPRを委嘱されている片山虎之介さんをお願いしました。参加者の方には今庄産そば粉を事前に発送し、座談会の後、そばの味を堪能できる料理である、「そばがき」を作ってもらうことで、今庄のそばのおいしさを伝えました。

(2) 「オンラインそば打ち体験」(2月6日)

町産そば粉・打粉を発送し、それを使って打ってもらいました。片山さんに講師としてご協力いただき、町産そば粉のおいしさを引き出せるような打ち方、茹で方を伝えました。

2. Instagram・Twitter・ブログによる、そばの魅力の発信

(1) 今庄地区にあるそば屋の紹介

(2) 町産そば粉を使った料理の紹介（そば饅頭、ガレット、そばぼうろ、パン、クッキーなど計10品）

(3) そばの生産者・今庄そばまつり出店者の方へのインタビュー

■町との関わり

1. 来町期間、来訪場所（兼 取材場所）

期間：日帰りで計7日（9月に2回、10月に3回、11月と12月に1回）

場所：今庄地区にあるそば屋・体験施設(11か所)、今庄宿、今庄駅、四季菜など(計20か所)

2. ヒアリング対象者・イベントに協力して下さった南越前町の方

まちみらいチャレンジ参加者 澤崎さん、リトリート田倉 岩崎さん、うすい農園 笛吹さん等

■情報発信

オンラインイベント参加者からの感想

・「（今庄産そば粉のそばがきを食べて）今まで感じたことがなかった、甘みとか香りとかを感じる事が出来ました。」「お蕎麦購入したいと思います。」（以上、(1)のイベント）

・「（町産そば粉の紹介を受けて）粉の通販もあるということで、購入して打ってみたいと思います。美味しいそばができたので、満足です。」「コシがあっておいしかったです」（以上、(2)のイベント）

■成果（変化）

1. 自分自身の変化

オンラインイベント参加者の方や、活動に協力して下さった方のおかげで、この地域には多くの魅力があることに気づきました。店の歴史やこだわりについて話して下さったそば屋店主の方、インタビューさせていただいた、地域のために農地を守る活動をされている方など、素敵な思いを持った方とたくさん話すことができました。イベントの開催を伝えると、「魅力を発信してくれてありがとう」「手伝えることがあったら言ってね」などという声をかけていただいたり、私の活動に価値を見出してくださったりしたことが本当に嬉しくて、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

また、南越前町・今庄のそばについて詳しくなれたうえ、そのおいしさを実感しました。そして、工夫次第で、そば粉の料理は他にもできると感じたので、また町産そば粉で作ろうと思いました。

2. 今後のまちとの関わり方

(1) お花見フェス（今庄にて開催）への参加（4月11日）

本活動での発信内容をまとめた資料の掲示やパンフレットの配布、可能であれば、そば饅頭やそば粉クッキーの販売などを行おうと考えているところです。

(2) 今庄そばまつりへの訪問・運営の手伝い・出店など（時期は未定）

上記と同様の資料掲示・パンフレット配布や、麺以外のそば粉の料理での出店を考えています。

■活動に関する写真等

(1)に記載のオンラインイベントの様子・今庄駅に設置したチラシ



オンラインそば打ち体験の様子・参加者の方が打ったそばの写真・宣伝に用いた画像



SNS・ブログでの発信



『ブラキクリ』～南越前町はなぜ「海と緑と歴史」のまちなのか～

菊川 翔太

■活動内容

①概要

南越前町版の『ブラタモリ』を作成しました。南越前町の「山海里」といった自然環境の下、一つ一つの歴史が積み重なって今の南越前町がある、だから南越前町は「海と緑と歴史のまち」だと実感しました。

②背景

『ブラタモリ』のプロデューサーさんの「ブラタモリは全ての市町村で作れる。すべての市町村には歴史があって、絶対面白くなる」という記事を見つけました。有名な観光地や大都市ではなく「すべての市町村」で作れることを自分なりに示したくて、南越前町版の『ブラタモリ』精一杯取り組みました。

③情報収集

現地でのお話に加え、自宅ですること(南越前町のパンフレット、インターネットの情報、図書館の本など)をメインに情報収集しました。

④情報発信

ブログのnoteの更新に加え、パンフレットの作成、玉村屋2周年イベントでの50分間の発表を通じて情報発信をしました。

■町との関わり

実際に南越前町を来訪できたのは11月中旬の3日間だけでした。でもその3日間では色んな人・場所に連れて頂きました。北前船主右近家のガイドさんを含め11人の方とお話することができました。また町の学芸員さんにzoomで発表しアドバイスを頂くことができました。すごく刺激的な時間でありがたかったです。

パンフレットの文章や玉村屋さんのイベントの発表の中で、その感謝の気持ちを少しでも伝えるよう精一杯取り組みました。

■情報発信

主にブログのnoteで情報発信をしました。南越前町への僕の想いも交えて、南越前町に少しでも身近に感じてもらいたいと思って発信していました。4か月の発信を通じて、情報発信が苦手だった僕でも合計で1万回以上記事を読んでもらえてすごく自信になりました。また玉村屋さんのイベントでの発表、楽しんでもらえるかすごく不安だったけど「頑張ってたね」ってお声を南越前町の住民の方からも頂けて本当に嬉しかったです。

■成果(変化)

★気持ちの変化 僕は4月と1月の2回、緊急事態宣言を経験しました。1回目も2回目も日常での生活は大きく制限されてたけど、でもその充実度は全然違いました。「実践の場」があったことで、自分の苦手なこと(デザイン力、情報発信力、伝える力など)少しは克服できました。積極的に「実践」する大切さ、教えてもらいました。これからは環境や周りのせいではなく、自分のできること探して実践していこうと思いました。

★進路への決心 僕は大学3年生で将来の進路について絶賛悩み中でした。でも、今回の活動に参加して、諦めていた道に進む決心ができました。町の学芸員さんなど「歴史や地理×まちづくり」の道です。これが「今の自分が本当にやりたいこと」だと気づきました。南越前町は人生の大きな選択の背中を押してくれました。

★今後の関わり方 この道に進む最初の第一歩として僕の直近の夢は、タモリさんに南越前町の「歴史や地理」の魅力をご紹介します。でも、今のままでは努力もスキルもまだまだです。だからまず今回パンフレットで作成した南越前町版『ブラタモリ』をケーブルテレビの方などにお願ひし、実際にまち歩き有形として映像化したいです。そのためにも卒論を通じて、南越前町の歴史(江戸/明治版の地方創生をテーマに北前船の歴史など)をより深掘りしたいです。今回の経験を一つも無駄にしないよう今後の活動に必ず活かします！

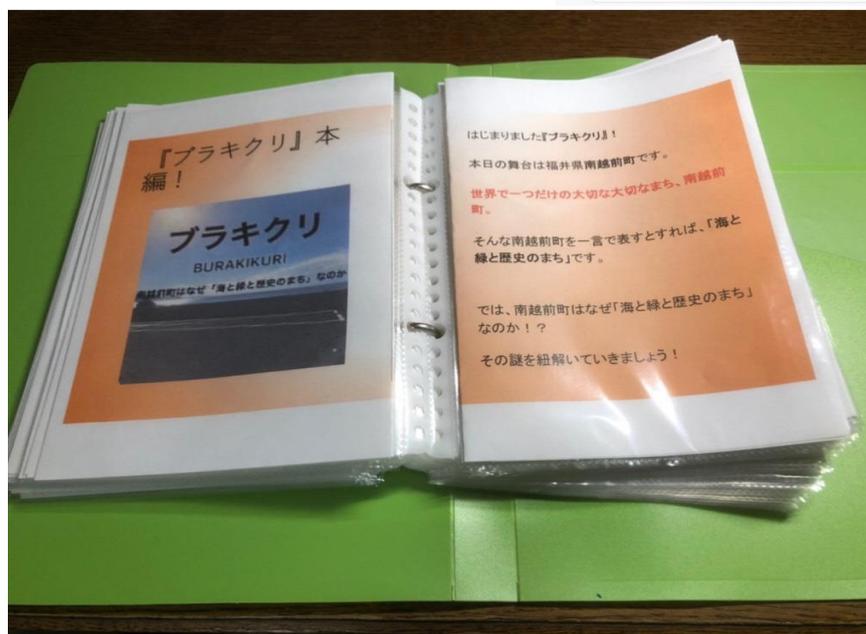
■活動に関する写真等



トーク『ブラキクリ』～南越前町はなぜ「海と緑と歴史のまち」なのか！？～／玉村屋2周年ありがとうマルシェ

(左)「地域まるっと体感 宿 玉村屋」さんのイベントで『ブラキクリ』をYouTubeのライブ配信で発表した際の写真です。現地で発表できなかったのは残念でしたが、その分オンラインで友達にも見てもらえたので良かったです！

(右)：情報発信のために始めたブログのnoteの写真です。南越前町のマスコットキャラクターの「はす坊」と僕の名前の「菊川」を掛け合わせて「キク坊」として発信していました！(笑)



(左)南越前町の魅力を「文字」でも伝えたくてパンフレットにまとめました。10ページくらいにまとめるつもりでしたが、69ページになってしまいました(笑)。でも一応カタチになってよかったです！

活動番号

14

南えちぜんVege Project

渋谷 桃佳

■活動内容 ～南越前町の豊かな農産物の魅力を発信する活動～

① 町産野菜を使ったお菓子を、南越前町の人に向けてイベントで提供！

- ◇10月17日「今庄にちょっと寄ろう in 今庄駅前」で3種類のかぼちゃのケーキ113個販売
- ◇11月23日「まちみらいプチマルシェ in 今庄そば道場」で新生姜、金木犀、吊るし柿ケーキ108個販売
- ◇2月13日「ありがとうマルシェ in 玉村屋」人参と生姜、小松菜、吊るし柿のケーキ33個販売

② 町産野菜の簡単レシピを、若者に向けてSNSで全国に発信！

- ◇10月19日から、南越前町野菜や特産食材を使ってできる簡単な料理レシピ17つを考案し発信！

③ 地元飲食店に取材し、町産の農産物、農家さんとの関わりを記事にて配信！

- ◇10月25日取材→10月26日～28日にかけて、特集記事にしてSNSで配信！

④ 今庄の老舗の商店とコラボした、郷土料理の食材セットを商品化！

- ◇2月13日、「今庄茶飯セット」を玉村屋、吉五商店(醤油)、畠山酒造(酒)、田中彦治郎さん(米・大豆)皆さんのご協力を得て、商品化し20セット販売！

■町との関わり

- ◇来町期間:10月～2月まで毎週来町
- ◇滞在期間:11月末から12月末まで約1か月間滞在
- ◇訪問場所:玉村屋、そば道場、D51直売所(今庄)、ピッツェリアアロッソ(長沢)
- ◇取材場所:上記4つの場所に加え、地元カフェ、吉五商店、畠山酒造、一ノ瀬山荘にてヒアリング
- ◇町との関わり:各イベントを通じて約100名の町民、町役場の方、各施設スタッフの方々と対話

■情報発信

- ◇若者向けにSNSで計47回発信(3日に1回)、総フォロワー数415人・閲覧総数2万以上
「インスタを見てイベントに来ました」と、毎回遊びに来てくださる方もいらっしゃいました。
- ◇各イベントを通じて出会った約100人に、直接対話で活動内容や野菜の魅力をPR
「野菜の新しい食べ方を知れて面白い」、「これからも応援しています」などと反応をいただきました。
- ◇南越前町の広報誌「南えちぜん」12月号と2月号に活動の記事掲載
町民の方から「記事を見ました」などと反応をいただきました。

■成果(変化)

【私自身の変化】

私の母の実家が南越前町にあり、幼いころから同町は故郷のように感じていました。今回、本事業で100人以上との交流を通じて、同町の人たちのやさしさ、あたたかさ、農業や飲食業に携わる人達の思いなどを改めて感じる事ができました。活動を発信する場を提供していただいたり、貴重な経験をさせていただいた南越前町の皆様に心から感謝します。ますます大好きになった南越前町の「豊かな農産物」、「生き生きと暮らすまちの人」、「歴史ある食文化」を、世界にもっともっと発信していきたいです。南越前町は様々な人々を“繋ぐ”まちです。本事業が終わった後も、イベント出店など、まちの人との交流を楽しみながら行い、多くの人が南越前町を訪れるような、“繋ぎ役”を担いたいです。

【今後の予定】

引き続きイベント出店や、地域の交流会への参加や企画を通じて、まちの人と交流する機会を作りたいです。直近では、4月11日の「今庄お花見フェス」のイベントに出店を予定しています。また、季節の野菜を使った親子料理教室などにも挑戦したいと考えています。

■活動に関する写真等



▲10月19日「今庄にちょっと寄ろう」出店



▲10月25日 ピッツェリアアロッソさん取材



▲11月23日「今庄新そば収穫感謝祭」出店



▲10月～2月 町産野菜の簡単レシピを配信



▲2月13日「玉村屋ありがとうマルシェ」出店



▲玉村屋ファミリーと

南越前町の観光アプリ開発

片山 侑也

■活動内容

1. 南越前町の観光地、カフェなどに行って現地調査をする

実際に、甘味処てまり、souscafe(今は営業休止)、右近館、そば道場などに行った。そこでお店の方と会話をし、お店についてインタビューした。後述するアプリに行ったお店の感想を書いた。

2. 南越前町紹介アプリ"いこっさ"の開発

これがメイン作業になる。南越前町の観光地やカフェを紹介するアプリを作った。アプリには観光地などの情報が書いてあり、情報の追加削除は簡単にできるようになっている。南越前町の観光資源が一つにまとまっているといいと思い制作した。観光地などの情報は今後も追加していく予定。

■町との関わり

6回南越前町に行った。来訪場所は、sou'scafe, てまり, 畝来, ROSSO, 右近館, 南条SA, 花はず公園, 今庄宿にあるお店全般などである。

てまりでは店主の方とお話をした。古民家を改築したお店が増えていることや、来町客の世代などをインタビューした。

お話を聞いていて、若い世代の来町数が増えていることを知ったため、アプリを作ってPRをしようと思った。

■情報発信

アプリの一つ制作した。自分が行ったお店の情報などを発信している。

■成果(変化)

この活動を通して、南越前町について詳しく知ることができた。例えば、観光資源が多いことである。今庄宿は古い街並みが残っており、大野を彷彿とさせるような街並みでとても綺麗だった。また、カフェやレストランが充実している。

若い世代が注目しそうな古民家カフェや、廃園となった保育所を改装したカフェなど面白くインスタ映えしそうなスポットがたくさんあった。それと同時に、そういった観光資源のPRがあまりされていないと感じた。例えば観光ホームページには、カフェの情報は記載されていない。南越前町の観光資源が一つにまとまった物(媒体)が必要だと感じた。これから、私の作ったアプリをさらにアップデートして、そういった資源を複合的に管理できるものになりたいと考えている。

この経験からフィールドワークの重要性を知った。実際に現地に行くことで知れたこともたくさんあった。これから何か作る時は、実際に現地に行って情報収集を行おうと思った。

今後もアプリのアップデートを通して南越前町と関わっていきたいと思う。このアプリはまだまだ未完成であるため、大学を卒業するまでの1年間でもっとよりよいものになりたいと考えている。

■活動に関する写真等



キャプション

